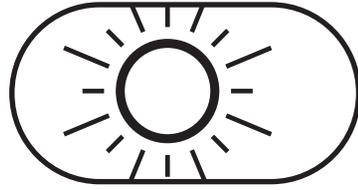


物流面の強化が課題

清涼飲料水



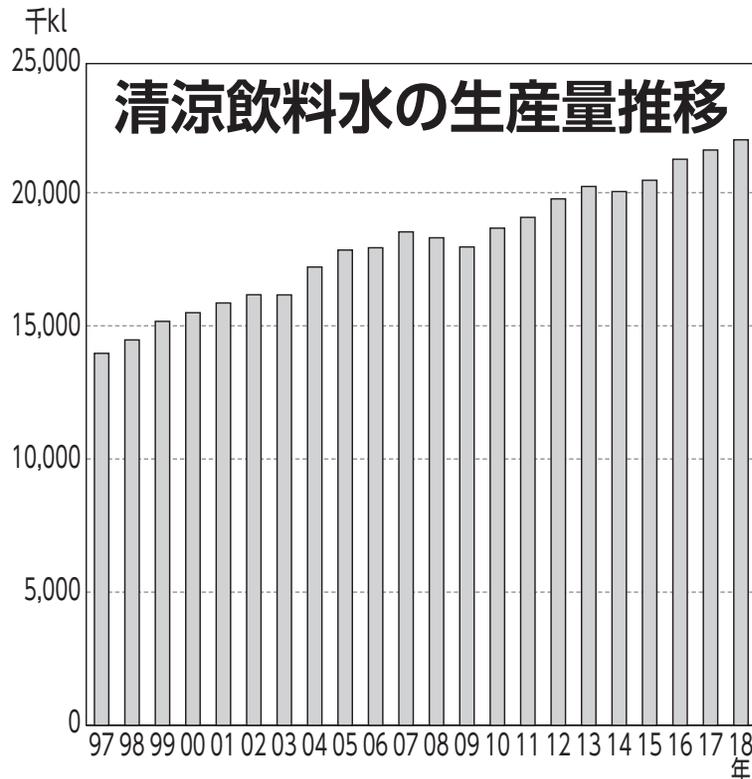
はれ

や水カテゴリーなどが牽引役となり微増が予想される。18年は猛暑により需要が急増したが、西日本豪雨や北海道地震など異常気象・天災による爪痕を残した。夏場は多くの企業がトラッ

清涼飲料水の生産量は過去、天候不順や増税、値上げ、大きな経済ショックの影響を受け一時的には凸凹はあったものの、現在まで基本的に景気と何の関係もなく右肩上がりであり続けていることから、今後も無糖茶

クの確保に追われるなど物流面で支障をきたし需要を取り切れず、このことが成長への課題となっている。

清涼飲料水の生産量推移



(本紙予想)

注) 09~11年ビールテイスト炭酸飲料を含み、12年から統計上の取り扱い変更に伴い除外